

一般質問事項（令和7年第8回遠賀町議会12月定例会）

◆令和7年12月5日（金）、8日（月）、9日（火）

◇12月5日（金）

（通告順1）質問者　舛添　博孝　議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 小学校の長期休業期間中（夏休みなど）における学童保育の昼食について	(1) ひとり親世帯や共働き世帯の負担軽減のため、夏休みなどの長期休業期間中における学童保育の昼食に給食の活用や弁当事業者との連携等に取り組む考えはないか尋ねる。	町長
	(2) 学童に通っている児童は、過去5年間の平均では約350人だが、学童保育の昼食に給食を活用するため夏休み、冬休み、春休みの長期休業期間中（約2ヵ月間）に給食センターを稼働した場合、必要な予算はどれくらいと見込まれるか尋ねる。	教育長
	(3) 現在、本町では学校給食費の保護者負担額の半額補助を行っているが、小学校に係る補助金額はいかで尋ねる。	教育長
	(4) 国は令和8年度より小学校の給食費を無償化すると言っている。本町の学童保育の昼食に給食を活用する場合や弁当事業者との連携等を行う場合、学校給食費の補助と同様に、学童の昼食にも補助を行うことは可能か尋ねる。	町長

（通告順2）質問者　仲野　新三郎　議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 大雨時の災害対策について	(1) 今年の8月9日から10日にかけての大雨に伴う町内の被害状況（人的・家屋・道路・河川）を尋ねる。	町長
	(2) 商工事業所や農地・農産物及び文化財などの被害は報告されているか尋ねる。	町長・教育長
	(3) 災害見舞金や緊急経済対策資金などの融資制度を受ける場合には罹災証明書が必要となるが、今年8月の大雨による申請者数を尋ねる。	町長
	(4) 大雨によって河川が増水し、氾濫の恐れがある場合の排水機場の稼働基準や、水門の操作の手順を尋ねる。	町長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	(5) 西川護岸整備事業の未整備区間について、国の管理区間については今年度から着手されることとなっているが、進捗状況と今後の整備計画を尋ねる。	町 長
	(6) 西川流域市街地への内水氾濫対策として、戸切川や遠賀川からの流入を防ぐための対応が求められており、これまで国や県に対して強く要望しているが、現時点で具体的な対策が検討されているか尋ねる。	町 長
	(7) 大雨時に不安を感じている住民に対して、河川の水位の状況や道路の冠水箇所などの的確な情報を迅速に提供する必要があると考えるが、戸別受信機ではどのような情報が得られるのか尋ねる。	町 長
	(8) 住民の不安を解消するためにも迅速な情報提供が求められるが、防災ライブカメラを設置するなどの今後の対応を尋ねる。	町 長

(通告順3) 質問者 仲摩 靖浩 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 企業版ふるさと納税について	(1) 令和7年度の本町における企業版ふるさと納税の寄附件数、金額について尋ねる。 (2) 企業版ふるさと納税の町外の企業への周知活動はどのように行われているのか。また、今後どのようにしていくか尋ねる。 (3) 企業版ふるさと納税を今後さらに推進していく上での課題について尋ねる。 (4) 地域の課題解決のため、企業版ふるさと納税を活用したプロジェクトを新たに策定するべきと考えるが、町長の考えを尋ねる。	町 長 町 長 町 長 町 長
2 小中学校の就業中の教職員の連絡手段について	(1) 現在、中学校における就業中の教員と職員室間の緊急時の連絡はどのように行われているか尋ねる。 (2) 中学校の視察時に、「携帯用小型通信機器があれば、連絡用に導入してほしい」との声が現場から上がっていた。就業中の教職員との連絡用に、このような機器を導入する考えはないか尋ねる。 (3) 現在小学校では、職員室と教室間の連絡にインターフォンを使用しているとのことだが、将来的に小学校にも中学校同様、携帯用小型通信機器の導入を検討する考えはないか尋ねる。	教育長 教育長 教育長

◇ 12月8日（月）

（通告順4）質問者 松尾 啓太 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 遠賀町みんなの夢応援プロジェクトについて	(1) みんなの夢応援プロジェクトの制度の趣旨とその目的、意義について尋ねる。 (2) 令和6年度は、町制施行60周年記念事業として多くの事業が採択・実施されたが、町としてどう評価しているのか尋ねる。 (3) 令和7年度から提案公募型事業に一本化されたが、現時点における令和7年度の応募件数、相談件数を尋ねる。 (4) 令和7年度からの変更点として、町の課題解決に寄与すると審査された事業については、補助率を10分の10に加算する制度を設けた理由と町が期待する具体的な課題を尋ねる。 (5) 審査会の夜間開催など、本制度の利便性向上に取り組んでいると思うが、現状の評価と今後の工夫について尋ねる。 (6) 本制度の価値を広く伝え、幅広く活用してもらうため、今後の周知方法や活用促進に向けた取り組みを尋ねる。	町長 町長 町長 町長 町長 町長
2 遠賀町商工会との災害時連携・応援協定について	(1) 8月に商工会との行政懇談会が開催されたと聞いているが、災害時連携・応援協定について懇談会では、どのような意見が交わされたのか。また、これまで町としてどのような検討をしたのか尋ねる。 (2) 今後、商工会との災害時連携・応援協定を結ぶ意思はあるのか尋ねる。	町長 町長

(通告順6) 質問者 萩尾 修身 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	町長の政治姿勢について	<p>(1) 町長選挙の時に言っていた「共に前へ」という言葉は、どのような意味で言った言葉なのか尋ねる。</p> <p>(2) 9月議会での一般質問について、傍聴者から様々な意見があがっているが、その意見についてどのように考えているか尋ねる。</p> <p>(3) 資料請求に対して、出す、出さないの基準は本町にあるのか尋ねる。</p> <p>(4) 世界水泳選手権の応援に要した公費について ①世界水泳選手権の応援が公務になった経緯を改めて尋ねる。 ②世界水泳選手権の応援に要した公費の返還を求める署名運動を行ったが、署名してくれた町民の方たちに対して、どのような考え方を持っているか尋ねる。 ③世界水泳選手権の応援が公費で行われたことについて、町の判断は正しかったと考えているのか尋ねる。</p>	町 長 町 長 町 長 町 長 町 長 町 長
2	小中学生のスマートフォンの使用について	<p>(1) 愛知県豊明市が制定した「スマートフォン等の適正使用の推進に関する条例」いわゆるスマホ条例に対して、どのような考え方を持っているか尋ねる。</p> <p>(2) 現在、スマートフォンを所有している小中学生の割合を尋ねる。また、調査結果を何に活用しているか尋ねる。</p> <p>(3) スマートフォンの長時間使用で、小中学生の睡眠時間に影響が出ていないか尋ねる。</p> <p>(4) 令和7年度教育施策要綱の6ページの「生活習慣の改善」の指標の概要で「平日、1日にTVやスマートフォン等を2時間以上見る割合」とあるが、これはスマートフォンを家庭学習に活用している時間は入っているのか尋ねる。</p> <p>(5) スマートフォンの使用について、学校の指導と家庭でのしつけとは、連携がとれているのか尋ねる。</p> <p>(6) 学校でスマートフォンの使用を禁止するより、積極的に活用する方向にかじを切ったほうが将来を見据えた時に有効と考えるが、教育長の考えを尋ねる。</p>	町長・教育長 教育長 教育長 教育長 教育長

◇12月9日（火）

（通告順7）質問者 野口 久美子 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 特別障害者手当の受給者の状況と今後の課題について	(1) 常時介護が必要な在宅の人で特別障害者手当の受給者が令和4年度末から令和6年度末まで、毎年13人である。申請して却下されているのか、もともと申請する人がいないのか、この人数をどのように分析しているか尋ねる。 (2) 在宅で、特別障害者手当の受給を受けていない人の生活実態の把握をどのように行っているか尋ねる。 (3) 介護サービス等事業者連絡会で説明等を行っていることだが、これまで何回実施し、何人の申請があったか尋ねる。 (4) 該当するのではないかという人に、必要な情報が届くよう、広く正しい周知のあり方についてどのような工夫が必要か尋ねる。	町 長 町 長 町 長 町 長
2 教員の働き方改革の進捗状況について	(1) 小中学校の教員の勤怠管理はどのように実施しているか。また、令和5年度に比べて令和6年度は残業時間がどのくらい減少しているか尋ねる。 (2) 残業時間削減に向けた具体的な対策として、小中学校ともに退校時刻を19時まで、定時退校日を月3日としているが、達成状況を尋ねる。また、ICTを活用した業務効率化でどのくらい残業時間の削減につながったか尋ねる。 (3) 一教員にとって負担度の大きい業務に対してどのような対策をとっているか。また、負担度の大きい業務に対してどのくらい時間がとられているのか尋ねる。 (4) 北九州市では2学期制の導入により、教員の業務負担を軽減しているとのことだが、本町でも2学期制の導入について検討する考えはないか尋ねる。 (5) 教員の残業時間削減のため、小学校低学年の通知表の廃止に取り組んでいる自治体もある。低学年は学校に行くのが楽しいと思える環境が大切だと考える。一つの選択肢として、小学校低学年の通知表の廃止を検討する考えはないか尋ねる。	教育長 教育長 教育長 教育長 教育長

(通告順8) 質問者 田代 順二 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	マイナンバーカードと健康保険証の一体化について	(1) 健康保険証の廃止に伴い、短期被保険者証の仕組みは廃止された。それまで短期被保険者証であったのに、いったん全額自己負担する特別療養費になった世帯はあるのか尋ねる。 (2) 厚生労働省は、国保税の滞納で医療費の窓口負担が10割となった世帯から自己負担が困難との申し出があれば、自治体の判断で3割負担にできるとする事務連絡を全国の自治体に発出した。このことを該当する世帯へ知らせたのか尋ねる。	町長 町長
2	不登校対策について	(1) 学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）を設置する考えはないか尋ねる。 (2) 不登校の児童生徒の健康診断はどのように対応しているのか。学校外で受ける場合、費用を補助する考えはないのか尋ねる。	教育長 教育長
3	学校給食費無償化について	(1) 現在、給食費の半額補助を実施しており、食物アレルギー等で弁当持参の児童生徒の保護者にも、給食費相当額の半額を助成すべきと思うが考え方を尋ねる。 (2) 政府が来年度より小学校の給食費無償化を実施する予定である。それに伴い、本町も小中学校とも完全無償化を実施すべきと思うが考え方を尋ねる。	教育長 町長・教育長

(通告順9) 質問者 松本 登 議員

	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	一般質問の合理的な質疑応答への改善策について	(1) 遠賀町議会でも、町長が事前に第1回目の回答を文書で回答すれば、無駄な応答時間を省き、議論も深まり議会が効率化すると思うが、町長の考え方を尋ねる。	町長
2	遠賀町の主要農産物である米の、ふるさと納税返礼品について	(1) ふるさと納税の返礼品として扱っている米の「夢れんげ」、この米の仕入れはどこから行っているのか尋ねる。 (2) ふるさと納税返礼品の「夢れんげ」のうち、多くの農家が利用している上別府低温農業倉庫での集荷米を、何パーセント利用しているのか尋ねる。	町長 町長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3 町民を苦しめている米の価格高騰と対策について	<p>(1) そもそも買いやすかった米が去年から急に値上がりし、日本の主食の米が非常に高騰した。米の価格高騰の要因・原因は何だったと捉えているのか町長の見解を尋ねる。</p> <p>(2) 米の価格は今年も更に値上りしており、消費者である多くの町民が大変困っている。米の価格高騰対策については福岡県とも十分協議が必要だが、遠賀町は県下でも有数の米の産地でもあるので、産地の強みを生かした低価格流通を実現できるのではないかと考える。JA北九と協力して流通コストを抑える工夫、遠賀カントリー施設の精米機を活用して、「遠賀町産米」を低価格で町民に提供する試みを検討する考えはないか尋ねる。</p>	町長 町長